

「第7回プライマリケア連合学会学術大会」で発表しました

平成28年6月11日～12日に東京都台東区の都立産業貿易センター台東館・浅草ビューホテルにて、「第7回プライマリケア連合学会学術大会」が行われました。

この会において、本学医学部医学科5年の櫛谷直寿君が「豪雪中山間地域における高齢者の生活環境と健康に関する聞き取り調査(1)ー通院と交通手段についてー」と題したポスター発表を、同じく5年の川上優吾君が「同(2)ー都市と比較した人のつながりー」と題した口演発表をそれぞれ行いました。2人は昨年の秋に実施した医学研究実習にて魚沼市の住民を対象とした聞き取り調査を行い、そこで得られた結果を今回発表しました。

発表ではこれまでの練習の成果を十分生かして、わかりやすく堂々としたプレゼンテーションとなりました。フロアからも全国の参加者から多くの質問や意見が寄せられ、新潟でのソーシャルキャピタル調査をアピールする上でも有意義な報告になりました。今回の発表を弾みとして、今後も調査・解析を進めていきたいとの思いを新たにしました。

